

第120回 (令和2年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	区分	出発日	帰着日	契約数
101	下山 健二	Z	1/5	1/13	30
102	平田 敏子	X	1/7	1/13	40
103	小山田 勇	Y	1/9	1/19	32
104	南 まどか	X	1/10	1/20	50
105	大川 和男	Z	1/8	1/21	56
106	安藤 絵里	Y	1/13	1/21	37
107	山口 正勝	Z	1/11	1/23	38
108	杉浦 美保	Y	1/12	1/19	35
109	長谷川 光	X	1/15	1/24	43

※契約数のデータは<出力形式2>で使用する。
※出発日・帰着日はすべて今年とする。

<乗率テーブル>

区分	乗率
X	124%
Y	118%
Z	107%

<営業手当の計算式>

契約数	営業手当
40以上	1,280×契約数
それ以外	1,160×契約数

<評価表>

評価の条件	評価
出張手当が45,000以上かつ営業手当が45,000以上	A
出張手当が45,000以上または営業手当が45,000以上	B
それ以外	C

<処理条件>

- <出力形式1>のような社員別出張データ表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
※出発日・帰着日は、月日の表示であれば形式は問わない。
- 出張日数=帰着日-出発日+1
- 乗率は<乗率テーブル>を参照し、求めなさい。(%表示とする)
宿泊単価=6,470×乗率 (10位未満切り上げ) 出張単価=3,890×乗率 (整数未満切り上げ)
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような支給総額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 出張日数・宿泊単価・出張単価は、社員別出張データ表を表検索しなさい。
- 宿泊料=宿泊単価×(出張日数-1)
出張手当=出張単価×出張日数
- 営業手当は<営業手当の計算式>を参照し、求めなさい。
支給総額=宿泊料+出張手当+営業手当
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 出張手当の少ない順に並べ替えなさい。
- 支給総額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の出張手当・営業手当を社員名別の積み上げ横棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の比較”とし、凡例は“出張手当”、“営業手当”とする。

<出力形式1>

社員別出張データ表

CO	社員名	区分	出発日	帰着日	出張日数	乗率	宿泊単価	出張単価

(途中省略)

—	合計	—	——	——	——	——	——	——
---	----	---	----	----	----	----	----	----

<出力形式2>

支給総額一覧表

CO	社員名	出張日数	宿泊単価	出張単価	宿泊料	出張手当	契約数	営業手当	支給総額	評価

(途中省略)

—	合計		——	——						——
---	----	--	----	----	--	--	--	--	--	----

<出力形式3>

出張日数が13未満の出張手当の最大	
契約数が40以上の支給総額の平均	